

<p>国語 「手と心で読む」</p>	<p>相模原市立鳥屋小学校</p>
<p>単元（題材）目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のあることからなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモすることができる。 ・ 相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話すことができる。 <p>（１）実施時期 9月中旬</p> <p>（２）対象（学年等・人数） 4学年 11人</p> <p>（３）指導者（教諭・外部講師等） 本校教諭：4年担任</p> <p>（４）実施内容 単元の学習の終末で、発展学習としての扱い 学習課題「人と関わり合うための工夫に、他にどんなものがあるか考えよう」 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴覚障害がある方はどんな方法で伝え合っているか考える。（手話、筆談、身振り手振り） ・ 「ありがとう」「ごめんなさい」等の挨拶を手話で体験する。 ・ 手話体験で気づいたことを伝え合う。 <p>（５）成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害者について教材文から学んだ後に、聴覚障害者について考えたことで、点字や手話を通して様々な立場の人と関わり合うことができるという理解が深まった。 ・ 授業で学んだ手話だけでなく、他の挨拶を手話で覚え、友だちどうして教え合うなどの意欲が高まった。 	